



平良地区

土砂災害ハザードマップ

ハザードマップに関するお問い合わせ

廿日市市 総務部 危機管理課
住所：廿日市市下平良一丁目 11-1
電話：0829-30-9102

■土砂災害ハザードマップとは？

このハザードマップは、大雨による土砂災害を想定し地区のみなさんと話し合いを重ねながら作成したものです。ハザードマップには、**災害危険箇所**、**指定緊急避難場所**、**避難時の注意箇所**などをまとめています。ご家庭などで指定緊急避難場所や避難ルートなどを確認し、早めの避難ができるよう備えておきましょう。



話し合いの様子

まちあそびによる危険箇所確認の様子

わが家の防災メモ

地図面で指定緊急避難場所や避難ルートなどを確認し、大切なことを書き込んでおきましょう！

家族で決めておくこと

●最寄りの指定緊急避難場所はどこですか？

指定緊急避難場所

●家族の集合場所はどこですか？

集合場所

●家族の連絡先などを書き込んでおきましょう！

氏名	続柄	血液型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先 (携帯電話・学校・勤め先など)

知っておきたい連絡先

●廿日市市の主な機関・施設

機関名	電話番号
廿日市市役所	0829-20-0001 (代表)
平良市民センター	0829-31-1251

そのほかにも重要な電話番号があれば書き込んでおきましょう！

●災害用伝言ダイヤル(171)

伝言を録音する
171 → **1** → 市外局番からの電話番号 → **録音 30秒**

伝言を再生する
171 → **2** → 市外局番からの電話番号 → **再生 30秒**

※伝言の録音・再生に必要な電話番号は、「被災地の方」は自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、「被災地以外の方」は連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤルしてください。

地域の連絡網

誰から 電話番号

さん から連絡があり、

誰へ 電話番号

さん へ連絡する。

声をかける人、注意が必要な人はいませんか？

すぐに持ち出せる所に保管して下さい。

防災情報を収集しよう！

防災情報を集める手段は様々なものがあります。使いやすく、自分に合った手段を用いて早めに情報を取得し、身の安全の確保につなげてください。また、停電時にどのように情報を集めるかも考えておきましょう。

防災行政無線

避難情報、避難所開設情報、災害対策本部設置状況など、市内の防災情報や災害時における市役所の活動状況が放送されます。

放送内容が聞こえないときは…

防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます。

0120-154-201

携帯・PHS OK

データ放送 (NHK広島放送局)

NHK広島放送局では以下の情報を確認できます。

- 土砂災害危険度情報
- 防災・生活情報
- 避難情報
- 雨量
- 河川水位

テレビリモコンのdボタンから必要な情報を入手！

広島県防災Web

広島県内のさまざまな防災情報を確認できます。

- 気象情報(警報・注意報)
- 観測情報(雨量・水位・潮位)
- 避難情報(避難所開設状況)
- 土砂災害危険度情報

FMはつかいち緊急放送

「廿日市市」と「株式会社FMはつかいち」は災害時などにおける緊急放送協定を結んでおり、緊急情報は深夜や早朝の放送時間外でも放送されます。

76.1MHz

メール

あらかじめ受信設定を行っている携帯電話・スマートフォンには、避難情報をはじめとする緊急情報が配信されます。

はつかいち安全・安心メール配信サービス

登録された携帯電話やパソコンに災害情報などをメール配信するサービスです。緊急速報メールなどよりも詳細な情報が届きますので事前に登録をしておいてください。

登録方法

- 1)登録用アドレスまたはQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。
- 2)数分以内に、登録用URLが記載されたメールが届きますのでURLをクリックしてください。
- 3)必要な情報(災害・緊急情報、気象情報)を選択して「次へ」を押します。
- 4)入力内容を確認し「登録」を押します。数分以内に登録完了メールが届きます。

登録用アドレス bousai.hatsukaichi-city@raidan.ktaiwork.jp

QRコード読み取り機能搭載の携帯電話・スマートフォンの場合は、左のQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

※登録・配信にかかる通信費用は利用者の負担となります。※一部の携帯電話では、返信された登録用URLから接続できない場合があります。その際にはお手数ですが危機管理課(0829-30-9102)までお電話ください。

廿日市市公式LINE

ID: @hatsukaichicity

防災に関する緊急情報や新型コロナウイルス感染症に関する情報など、市政情報を発信します。

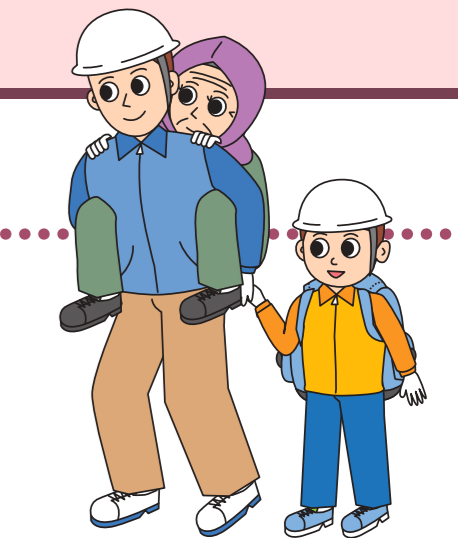
ひろしま避難誘導アプリ 避難所へGo!

避難情報の発令時、自分のいる現在地から開設中の最寄りの避難所へのルート案内を行います。

安全に避難しよう！

■避難行動とは？

- 指定緊急避難場所への移動
切迫した災害の危険がせまっている場合は、避難ルートを参考に速やかに避難してください。
- 安全な場所への移動
公園、親戚や友人の家などに移動してください。
- 近隣で鉄筋コンクリート等の強度が強く、高い建物への移動
- 建物内の安全な場所での待機
がけから離れた2階の部屋などで待機してください。



■警戒レベルと避難行動(とるべき行動)

気象庁が発表する気象情報、広島県が発表する土砂災害警戒情報を基に、廿日市市が土砂災害警戒区域など危険箇所を含む地区単位で避難情報を発令します。発令された警戒レベルにより、適切な避難行動をとります。

避難情報(廿日市市が発令)

危険度

大

警戒レベル 5

●既に災害が発生しています。
●命を守るための最善の行動をとります。

《警戒レベル4》までに必ず避難!

警戒レベル 4

●速やかに避難しましょう。
●避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難場所開設

警戒レベル 3

●避難に時間を要する人(高齢者、障害のある方、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。
●その他の人は避難の準備を整えましょう。

気象情報(気象庁が発表)

警戒レベル 2

●避難に備え、このハザードマップで避難先や避難行動を確認しましょう。

警戒レベル 1

●今後、大雨警報などが発表される可能性があります。
●災害への心構えを高めましょう。

小



避難時の注意事項

天候や周辺状況の急変に注意!
避難中に雨の降り方や周辺状況が急変した場合は、近くの安全な場所で待機してください。

避難経路の路面状況に注意!
側溝やマンホールから水が溢れるなど、路面が泥水で浸水している場合もあります。やむを得ず浸水箇所を通る場合は、長い棒を使い足元を確認しながら歩きましょう。

もしも土砂災害に遭遇したら…!?
がけ崩れの場合は斜面からできるだけ遠くに逃げましょう。土石流の場合は土砂の流れる方向に対して、直角に逃げましょう。

■事前に備えておくもの

避難時の服装

動きやすく肌を保護できる服を着用!

ヘルメットや防災頭巾で頭を保護!

軍手を着用!

履きなれた靴を着用! 紐で締められる運動靴が理想的!

非常時持ち出し品

●自分で背負うことのできる重さにしなす。●離ればなれになったときのために、荷物は各自のリュックで準備しましょう。

食料品 ※3日分目安(できれば1週間分) <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート <input type="checkbox"/> 保存食 <input type="checkbox"/>	衣料・生活用品 <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 着替え(上下) <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく・ライター <input type="checkbox"/> 筆記用具・メモ帳 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/>
医療用品 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 処方薬(名称:) <input type="checkbox"/>	貴重品 <input type="checkbox"/> 現金(小銭も忘れずに) <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 身分証 <input type="checkbox"/>

※ペット同伴で避難される方は、ペットケージやエサなどを忘れずに持ってきてください。



平良地区 土砂災害ハザードマップ

※このハザードマップは大雨による土砂災害を想定しています。日頃の防災活動にお役立てください。
 ※避難行動は「警戒レベル3」発令時を基本としてください。

緊急時の連絡先

廿日市市役所 0829-20-0001 (代表)
 平良市民センター 0829-31-1251

ハザードマップに関するお問い合わせ

廿日市市 総務部 危機管理課
 住所：廿日市市下平良一丁目11-1
 電話：0829-30-9102

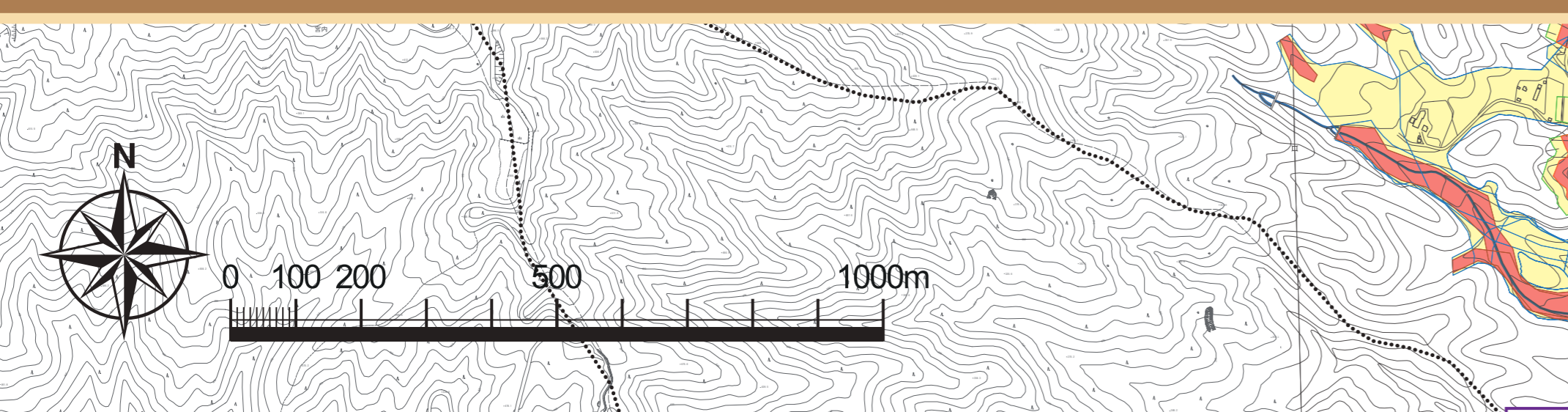
災害用伝言ダイヤル

伝言を録音する 171
 局番なしで「171」をダイヤルし、伝言を再生する 音声ガイダンスにしたがって…

市外局番からの電話番号

「被災地の方」は自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、「被災地以外の方」は連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤル

録音 30秒
再生 30秒



地域からの意見による避難先

•ワークショップで挙げられた意見を基に、町丁目ごとの避難先をまとめています。
 •避難時の参考としてください。

町丁目	避難先
下平良一丁目 下平良二丁目	平良市民センター
平良一丁目 平良二丁目	平良市民センター
下平良	平良市民センター
上平良	原小学校、宮園市民センター 平良市民センター
陽光台一丁目 ～陽光台五丁目	平良市民センター、陽光台集会所

※周囲の状況に応じて自宅待機とするなど、無理な避難は避けてください。
 ※集会所の開設は市民の方をお願いします。
 ※避難の方法は原則として徒歩です。

指定緊急避難場所等の凡例

指定緊急避難場所 (土砂災害時に開設する)
 指定緊急避難場所 (土砂災害時に開設しない)
 指定避難所
 福祉避難所

●指定緊急避難場所とは、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。
 ●指定避難所とは、災害により自宅に戻ることができない場合などにおいて、一定期間避難生活を送る施設です。
 ●福祉避難所とは、高齢者や障がいのある人などのうち、特別の配慮を必要とする人が避難する施設です(健常者だけの避難は原則できません)。

「警戒レベル3」の発令時は 平良市民センターから開設されます

※指定緊急避難場所などの開設は市民センターから行い、災害の規模に応じ小中学校などを開設していきます。
 ※指定緊急避難場所・指定避難所は災害の種別ごとに指定しています。
 ※各避難所の災害種別や収容人数などの詳しい情報は、廿日市市ホームページをご確認ください。

緊急の場合はマップ上の指定緊急避難場所などととらわれず近くの安全な場所に避難してください。

ハザードマップの使い方

STEP 1 自宅を見つけよう!
 地図上で自宅を見つけ、自宅周辺のリスクを確認します。

STEP 2 避難先を考えよう!
 避難場所の開設基準を確認し、安全な避難先を考えます。
 避難場所、または親戚宅に移動?
 自宅で垂直避難?

STEP 3 避難方法を考えよう!
 徒歩の場合
 車の場合
 通道を?

土砂災害の凡例

地図上の凡例

● 土砂災害特別警戒区域
 ● 土砂災害警戒区域

定義

●土砂災害特別警戒区域：建物破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域
 ●土砂災害警戒区域：土砂災害のおそれがある区域

区域指定の基準

急傾斜地の高さ(h)
 10m以内
 急傾斜地の下端
 傾斜度 50度以上
 急傾斜地の下端
 2h以内(ただし50mを超える場合は50m)

土石流のおそれのある溪流
 扇頂部
 土地の勾配2度

災害危険箇所は、避難を中心とした防災対策を進めるためのものであり、災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。区域内外に関わらず、早めの避難を心がけてください。

河川はん濫による浸水想定区域の凡例

可愛川、御手洗川の浸水想定区域は、50年に1回程度起こると想定される大雨が降った場合に、「堤防を越えて水が溢れる、堤防が決壊する」という予測に基づいた浸水状況をまとめたものです。

地図上の凡例

■ 1.0m以上
 ■ 1.0m未満

浸水深が人に与える影響

浸水時は水が濁っているだけでなく、マンホールや側溝などの蓋が浮いている場合があります。なるべく浸水する前に避難を開始してください。

身長160cm
浸水深80cm
歩行がかなり危険となる。

身長100cm
浸水深50cm
歩行が困難になる。

浸水深30cm
外開きのドアが開かなくなる。

浸水深20cm
子どもでは外開きのドアを開けることができない。

マーク等の凡例

→ 避難ルート
 砂防堰堤
 ヘルポート
 雨量観測所
 …… 地区境界

集会所
 要配慮者利用施設
 警察署・交番
 水位観測所

アンダーパス
 防災行政無線
 廿日市消防署
 鉄道

地域からの意見による注意箇所

■日頃気になる箇所

- 通行時注意する道
- 水害注意箇所
- がけ崩れ注意箇所
- 通行注意箇所
- 水路・側溝の注意箇所
- 注意河川

■過去に災害が発生した箇所

- 土砂災害
- 水害

過去に災害が発生した箇所の多くは、「平成11年6.29災害」によるものです。

